

町民憲章

わたくしたちさつま町民は、先人たちが築いてきた歴史と山紫水明の豊かな自然に感謝し、健康で明るく住みよいまちづくりへの誓いをこめて、ここに町民憲章を定め、その実践に努めます。

思いやりと温もりで育む 心豊かなまちをつくります

【趣旨】少子高齢化社会を迎え、生涯にわたり安心して生活できる地域社会の実現を図るために、町民が健やかで心豊かに過ごせるよう、お互いが思いやりと温かさをもって生きいきと暮らせるまちをつくっていくものです。

豊かな地域資源をいかした 活力あるまちをつくります

【趣旨】豊かな地域資源を核にした産業の活性化は、豊かな暮らしを支えていくうえで重要であることから、みんなが夢と希望をもって働く喜びをもち、活力に満ちたまちをつくっていくものです。

人と自然が共生する 美しいまちをつくります

【趣旨】まちを包む豊かな緑と川内川の流りに象徴されるように恵まれた自然を大切に、自然と共生した環境保全に努め、責任をもって次代へ継承していくものです。

生きがいをもとめ楽しく学び 文化の薫るまちをつくります

【趣旨】先人たちの手によって培われてきた伝統・文化は、豊かでゆとりある人生をおくるために大切なことから、希望や生きがいをもって自ら学び、教養を深め、人づくりに努めるものです。

元気で笑顔にあふれ 互いに支えあうまちをつくります

【趣旨】まちづくりは、そこに暮らす人びとが人生や暮らしの充実感、満足感を求めて意欲的、積極的に行動していくために、“人・地域・まち”が元気でともに知恵を出し合い協働するまちをつくっていくものです。

～町の木・花・竹・鳥・昆虫～



町の木「モミジ」

カエデ科の落葉広葉樹で、古くから風致樹として多くの人々に親しまれ町内にも広く分布し、夏は緑、秋は赤と葉色が変化する季節感のある木です。観音滝公園や鶴田ダム周辺は紅葉の名所で、町民の憩いの場となっています。



町の花「薩摩寒蘭」

常緑多年性の蘭科植物で霊峰紫尾山に自生し、その種類の多さ、花の姿、色彩の美しさ、芳香などの良さから愛好者も多く、全国的にもその名が知られています。秋には「薩摩寒蘭展示大会」が開催され、多くの観賞者が訪れます。



町の竹「孟宗竹」

イネ科。本町のいたる所に群生し、きわめて生長が早く、風雪に耐える力強さがあります。本町は県内でも有数のたけのこ生産地として知られており、また、竹工芸品や竹炭生産のほか、筍掘りや竹細工などをメニューにした体験型観光も行われているなど、産業振興にも大きく寄与しています。



町の鳥「オシドリ」

カモ目カモ科。雄は秋になると鮮やかな羽毛で覆われます。北薩広域公園付近の川内川に多く飛来し、河畔に設置された観察小屋から、その美しい姿を見ることができます。付近には、オシドリのモニュメントが並ぶ「鴛鴦橋」(おしどりばし)も架かっており、古くから親しまれています。



町の昆虫「ホタル」

コウチュウ目ホタル科。5月中旬に川内川河畔などで多く見られ、その数は全国屈指といわれています。その幻想的な光に癒しを求めて各地からホタル観賞に訪れる方々も多く、特に住民主体となって行われる「ホタル舟運航」は全国に誇れるもので、観光振興にも大きく寄与しています。